



▲葛飾キャンパス 図書館内の様子

葛飾キャンパスの図書館は、その設備やデザインなどから非常に関心を集めている。2015年には第41回建築作品コンクールで優秀賞を受賞し、さらにはテレビCMにも使われるなど、その注目度が伺える。そんな、葛飾図書館の全てに迫る。

葛飾図書館は2013年4月に、葛飾キャンパスへの移転と共に開設された。この図書館には、和書・洋書合わせて17万冊を超える蔵書があり、電子ブックも約3万5千冊と充実している。Newtonや日経サイエンスといった雑誌も、和洋合わせ600種以上が揃い、閲覧できる電子ジャーナル

は1万2千点にも及ぶ。図書館に行くとき、最初に目につくのは外装だろうか。正面から見ると、まるで美術館のような、石造りの建築が目立ち、キャンパスに踏み入れた時から存在感が大きい。一方、側面からはガラス張りの建物と細身の柱が特徴的である。図書館を囲う水も相まって、現代的でシャープな印象を与えるだろう。

図書館「内部」



1階から2階上がる間に本棚と閲覧席が2段にわたって並んでいる。2階には多くの閲覧席の他に

▲未来わくわく館

索端末の他、オススめの図書などが並ぶ。メディアラウンジと呼ばれる一角には新着の雑誌や新聞などが集まり、新しい情報を得られる場所となっている。

1階から2階上がる間に

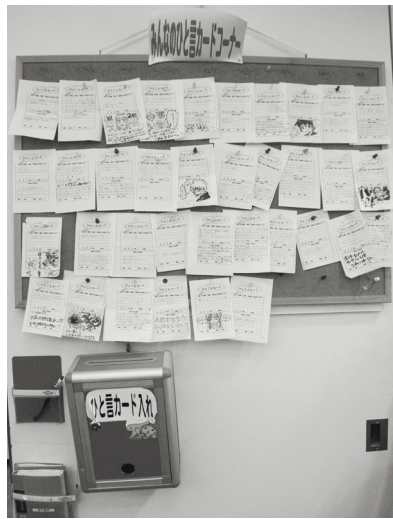
「図書館」と名のつくこの建物だが、実のところ、葛飾区の運営する未来わくわく館が併設されているのだけではない。多目的に利用される大ホールに加え、

図書館「棟」

止とした、純粋に本を読むための空間だ。防音性の高い部屋の中では、ペー지를めくる音のみが聞こえてくる。落ち着いた知的な雰囲気非常に魅力的な場所である。

また、2階には黙読書院という部屋も存在する。ここは、PCの使用を禁

も、自習スペース、グループ学習室があり、レポートに励む学生の姿も多く見られる。



▲一言カード掲示の様子

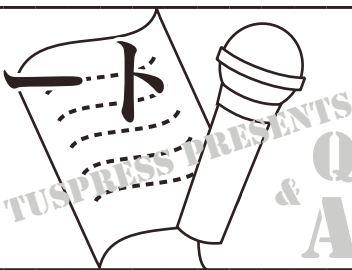
ボジウムを始め、ピアノコンサートやトークショー、同窓の懇親会など様々な目的に利用されている。未来わくわく館は隣にある「にいじゅくみらい公園」の影響もあり、子ども連れの家族が多く訪れる場所になっている。

葛飾キャンパスに通う学生なら一度ならず訪れたことのある図書館だが、全てを利用した学生は少ないのではないだろうか。ぜひ、この充実した施設を十分に活用してほしい。

生協を便利に！

生協は学生と深く交流したいと考えている。生協がどんな意見にも丁寧な返答をしているのもそのためだ。また須田店長は、「生協が組合員にとって利用し

新入生アンケート ~2017~



う。学年が上がりキャンパスが変わった人・一人暮らしを始めた人・大学に入学した人など様々であるが、新しい生活には慣れてきただろうか。

そこで、今回は新入生222人と在学生153人にアンケートを行った。アンケートの内容は、「大学生活における楽しみ・イメージしていた生活との相違」・「恋人について」・「本学に入学して良かったか」の4つである。

新入生が大学生活で楽しみにしていることは、サークル(36%)・講義(23%)・長期休み(19%)という結果であった。高校生活の部活動とは違い、大学には多種多様なサークルがある。選択肢も幅広く、楽しみにしている人も多かったのではなかろうか。また、講義を楽しみにしている人が23%という結果で、講義への参加意欲の高い人が多いことが分かった。時間割がある程度自分の好きなように組むことができるのも大学の魅力である。

一方、在学生が大学生活で楽しんでいることは、サークル(35%)・長期休み(20%)・授業(15%)という順であった。大学に入学した頃は意欲に満ち溢れ、講義に積極的に参加していたが、講義への参加意欲が無くなってしまう人もいるようだ。長期休みでは、自動車免許の取得や友人との旅行、アルバイトなど自分の好きなように時間を使えるので楽しみにしている人が多いのであろう。

次に、「本学のイメージしていた生活と実際の生活に違いはあるか」という質問に対しては、新入生・在学生共に「はい」が過半数を超えた。その理由として、「想像していたよりも面白い人が多く良い友人に巡り合った」「休みが少なく課題が多いため受験生の時より

活で楽しんでいることは、サークル(35%)・長期休み(20%)・授業(15%)という順であった。大学に入学した頃は意欲に満ち溢れ、講義に積極的に参加していたが、講義への参加意欲が無くなってしまう人もいるようだ。長期休みでは、自動車免許の取得や友人との旅行、アルバイトなど自分の好きなように時間を使えるので楽しみにしている人が多いのであろう。

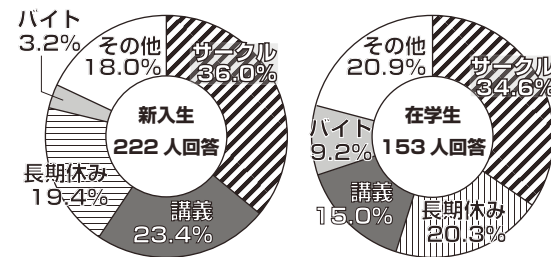
様々な思いを抱いて本学へ

りも忙しい」など様々な意見があった。一方で、「オーブンキャンパスで大学の雰囲気を知っていたため、想像通りである」といった意見もあった。

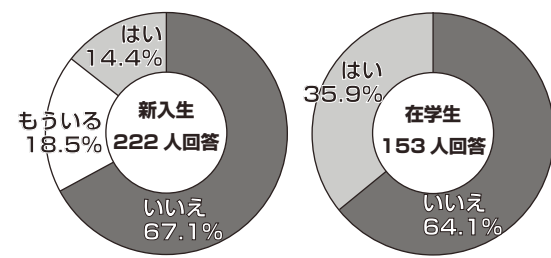
最後に「本学に入学して良かったか」という質問に対しては、新入生・在学生共に「はい」が6割であった。授業やサークル、恋人など楽しみは様々であるが思い思いの方法で楽しめていることが分かった。

最後に「本学に入学して良かったか」という質問に対しては、新入生・在学生共に「はい」が6割であった。授業やサークル、恋人など楽しみは様々であるが思い思いの方法で楽しめていることが分かった。

■大学生生活で楽しみにしていることは何ですか？



■彼氏・彼女はできそうですか？(新入生) ■彼氏・彼女はできましたか？(在学生)



▲アンケート結果の抜粋

生協を変えよう！

生協をただ漫然と使っていないだろうか。もう少し安ければいいのに、不満をこぼしてはいないだろうか。欲しい商品がなかったとき、肩を落としてコンビニに入っていないだろうか。そんなことではもったいない。生協は学生のための店。我々の意見でいくらでも変えられる。一言カードはそのためのものだ。

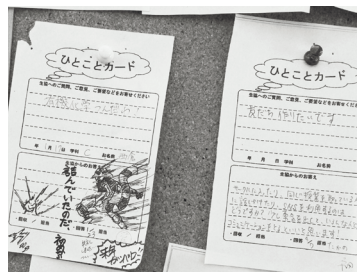
一言カードに 想いを乗せて

一言カードというのは、生協に意見を伝えるためのアンケート用紙のことだ。神楽坂では生協の食品売り場側の壁に、葛飾では入口から向かって左側にある。意見を書いて投書箱へ入れると、生協店員がそれを確認する。採用された投書には返答が来る。返答された一言カードは投書箱のすぐ近くにかけられている。コルクボードに掲示される。コルクボードには様々な投書が張り付けられている。「コーヒー売り場を設

置してください」といった建設的な意見から、「単位が取れません」といった深刻な悩み、さらには「ぼっちサークルに入らないか」といった突っ込みどころ満載なネタまである。その返答も面白い。真面目な投書に対しては真面目な回答を、深刻な悩みに対しては参考になるアドバイスや、ネタの投書に対しては生協側も気の利いたツッコミを返している。生協店員の対応力の高さがうかがえる。

実際に できたもの

一言カードの意見で実現したものは、学生にも生協にも利益をもたらす。毎年冬に各キャンパスで売られている中華まんがそうだ。中華まんの販売は一言カードの「コンビニまで買いに行くのが大変」といった意見から始まったものだ。これを聞いた生協は、冬季



▲一言カードには丁寧な返答がなされる

生協は学生と深く交流したいと考えている。生協がどんな意見にも丁寧な返答をしているのもそのためだ。また須田店長は、「生協が組合員にとって利用し